

1. はじめに

この度は、当社製品をご購入いただき、有難うございました。取り付け前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けして下さい。この取付説明書は必ず大切に保管して下さい。

以下の警告・注意を無視し、使用した場合、火災・故障・事故の原因となります。当社では一切の責を負いませんのでご注意下さい。

警告

- 本製品は DC12V 専用です。指定以外の電圧では使用しないで下さい。火災・故障・事故の原因となります。
- 使用しない線や、ギボシ端子等の金属部分は、必ず絶縁処理を行って下さい。ショートすると、火災・故障・事故の原因となります。
- 本製品の取り付けを行う際は、本説明書や当社 Web サイトの資料を参考にし、必ずテスターで確認しながら行って下さい。極性や配線先を間違えた場合、当製品や車両装置が故障したり、火災の原因となる可能性があります。
- コントローラやハーネスは、運転の妨げにならない位置にしっかりと固定して下さい。事故の原因となります。
- センサーが何らかの要因(動物の検知等)で反応し、ドアが突然動作し、事故につながる可能性があります。
- 洗車時は必ず当製品のスイッチを OFF にして下さい。
- 動作時にドアに挟まれないようにご注意下さい。

注意

- 本製品の取り付けや検査等に要した作業費用は、製品の瑕疵の有無に関係なく一切お支払いいたしません。
- 本製品の取り付けは、知識・技術のある方が行って下さい。
- 本製品の取り付けを行う際は、接触不良に注意して配線を行って下さい。接触不良が起きた場合は、事故につながる場合があります。
- 配線・絶縁処理が完了するまで、コントローラは接続しないで下さい。本製品のハーネスは、コネクタがロックするまでしっかりと挿し込んで下さい。
- 本製品のコントローラからハーネスを抜く場合は、必ずコネクタ部分を持って行って下さい。

2. 製品構成



コントローラ(赤4)
1 個



CN1 12ピンハーネス
1 セット



CN2 ON/OFF スイッチ
1 セット



配線止め金具
2 個



CN6 センサー用ケーブル
1 セット



線付きダイオード
1 セット (※)

(※)
橙線をラゲッジのルームランプ線に配線する場合に使用します。
車種別資料に記載が無い場合は、未使用となります。



キックセンサー
1 セット



位置決め用型紙
1 枚



センサー固定用
タッピングビス 2 個



センサー用
クッションテープ 1 枚

3. 配線方法

【重要】

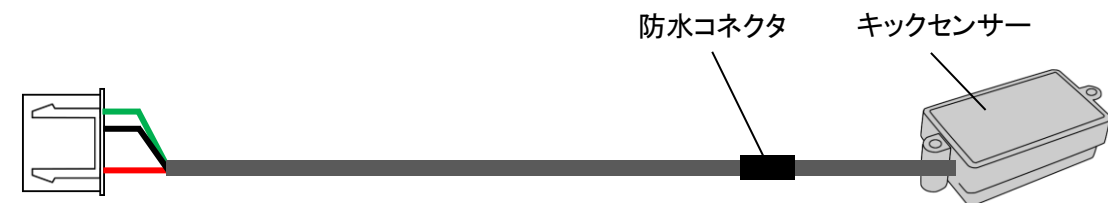
- ・コントローラは配線が完了するまで接続しないで下さい。配線途中で接続すると故障する恐れがあります。
- ・コントローラを接続する際は、バックドアが閉まった状態で接続して下さい。

CN1 白12ピンコネクタ : 車両に接続

ケーブル線色	説明と主な接続先
① 黒	ボディアースへ接続。
② 赤	常時電源へ接続。
③ 緑	パワーバックドア開出力。
④	
⑤ 緑/白	パワーバックドア閉出力。
⑥	
⑦	
⑧ 橙	バックドア開閉検知入力。(バックドア開時にOV)
⑨	
⑩ 灰	サイドブレーキ入力。(サイドブレーキ ON 時にOV)
⑪ 黄	IG 電源へ接続。
⑫	

CN2 青2ピンコネクタ : ON/OFF スイッチを接続

CN6 白4ピンコネクタ : キックセンサーに接続



※ 防水コネクタを接続する際は、挿し込む向きに注意して下さい。

【重要】

当社Webサイトで車種別配線資料を閲覧できます。
必ず当社Webサイトの資料に従って配線して下さい。

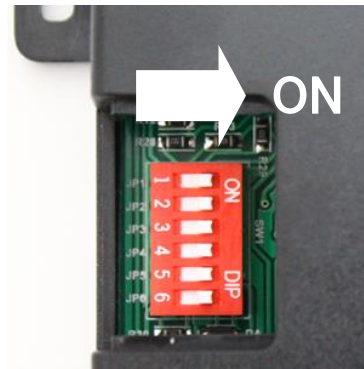
http://cepinc.jp/chumon/easy_open/easy_open_kit_info.html

※本体に付属する取説にはここにパスワードが記載されています。



4. DIP スイッチの設定方法

コントローラの小窓を開け、中の DIP スイッチで各種設定を変更できます。
設定変更は、必ずコントローラからコネクタを抜いて行って下さい。



DIP スイッチ	設定項目	ON	OFF
1	⑤緑/白線 出力時間 基本的には ON でご使用下さい。	2秒	0.2秒
2	③緑線 出力時間 スバル車のパワーバックドアに取り付ける場合に設定します。それ以外では必ず ON でご使用下さい。	2秒	0.2秒
3	バックドア閉時 遅延時間 センサーが反応してから、バックドアを閉めるまでの遅延時間です。	0秒	2秒
4	バックドアタイプ バックドアアウターハンドルにあるスイッチを押した場合の動作によって変更して下さい。電動で開く車両は ON、開かない車両は OFF にして下さい。	ハリヤータイプ	アル・ヴェルタイプ
5	未使用		
6	必ず OFF で使用して下さい。		

5. センサーの設置方法

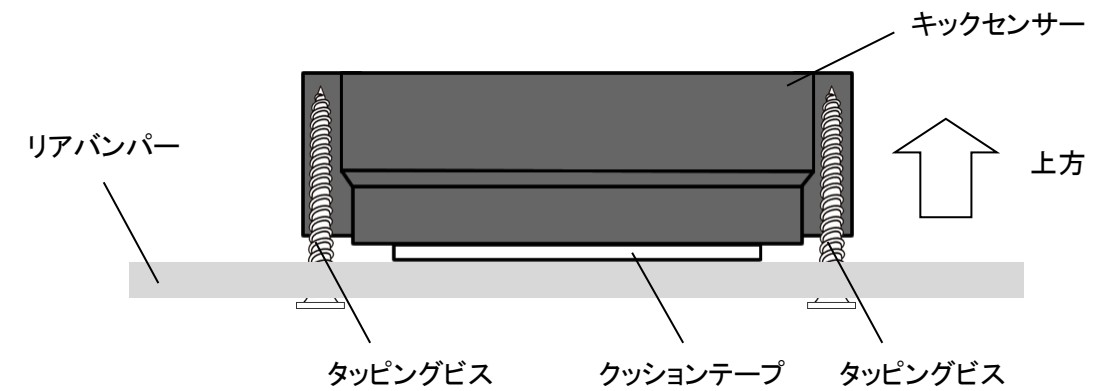
リアバンパーへの設置

- ① クッションテープをセンサーの下面に貼り付けます。



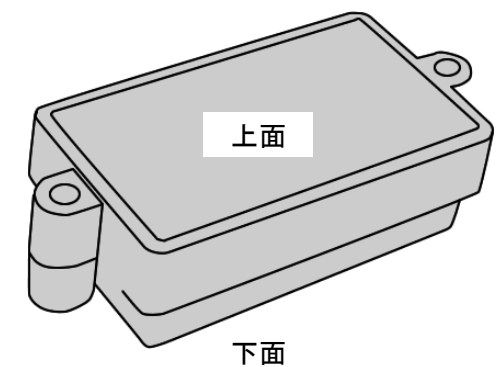
リアバンパー裏底面に設置します。

- ② センサーの設置位置を仮決めします。
- ③ 型紙シールをバンパー表底面に貼ります。
- ④ 型紙シールに従い、直径5mmの穴を開けます。
- ⑤ タッピングビスを下からねじ込み、センサーを固定します。



【重要】

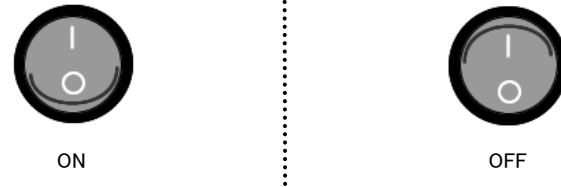
- ・必ずクッションが下になるように設置して下さい。逆に設置すると動作しません。
- ・センサーは地面と水平に設置して下さい。後ろ斜め向きに取り付けた場合、後方を横切っただけで反応する場合があります。



6. 使用方法

スイッチの操作

- スイッチを ON(|)にすると製品の機能が有効になります。スイッチを OFF(○)にすると製品の機能が無効になります。

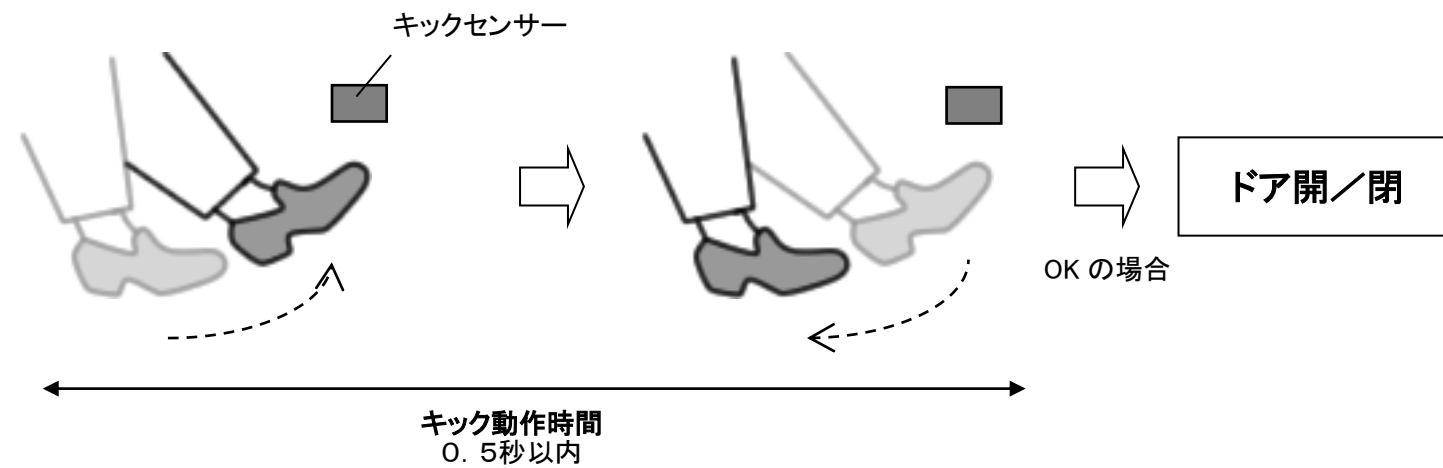


【重要】 次の場合は、必ずこのスイッチを OFF にして下さい。

- ・**ドア付近に障害物がある場合** (ドアに傷が付く場合があります。)
- ・**洗車時** (ドアが開いて、車内に水が入る場合があります。)
- ・**整備時** (ドアに傷が付く場合があります。)

足での操作方法

- キック動作をするとドアが開閉します。



【重要】

YouTube 上でキック動作の説明動画を閲覧できます。
必ずご確認ください。

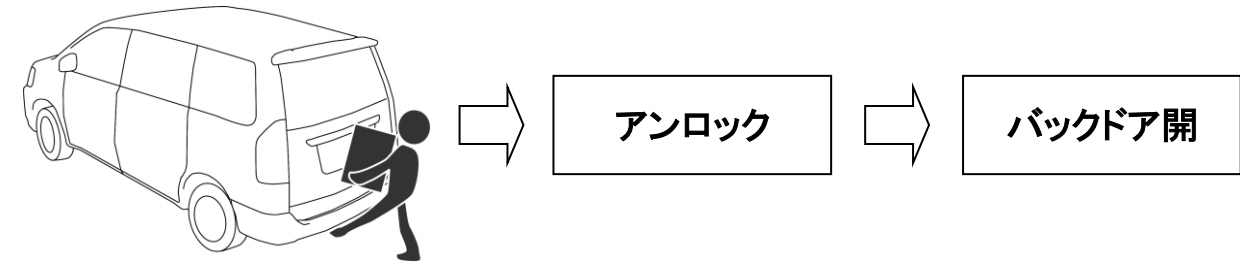
https://youtu.be/Oid_YPatXEM



イージーオープン機能

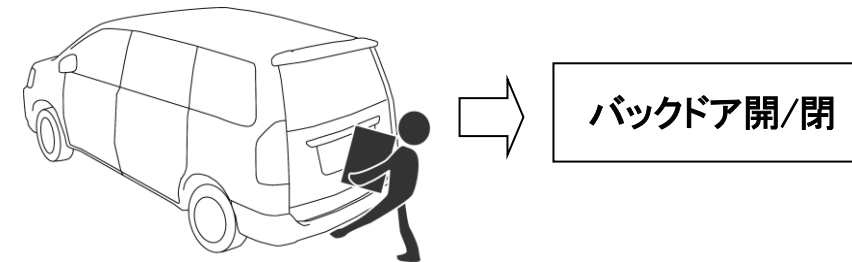
<ロック時>

- スマートキーを携帯した状態で足を入れると、アンロック後バックドアが開きます。
- バックドア動作中に足を入れると、バックドアが停止または逆転します。



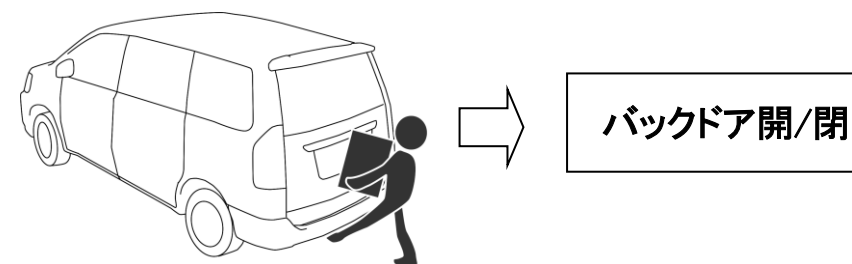
<アンロック時 (エンジン停止時)>

- 足を入れると、バックドアが開閉します。
- バックドア動作中に足を入れると、バックドアが停止または逆転します。



<エンジン始動時>

- パーキングブレーキ ON の状態で足を入れると、バックドアが開閉します。
- バックドア動作中に足を入れると、バックドアが停止または逆転します。



7. トラブルシューティング

	手 順	正 常	異 常	原因・備考
1	コントローラにコネクタを接続する。	リレーの音がある。 → 2へ。	リレーの音がしない。	①黒線、②赤線の結線不良。
2	アンロック状態で足を入れる。	バックドアが開閉する。 → 3へ。	リレーの「カチッ」という音がしない。	操作が正しくない可能性があります。キック動作の説明動画(上部QRコード)をご確認下さい。
			バックドアが開かない。	③緑線の結線不良。
			バックドアが閉まらない。	⑤緑/白線、⑧橙線の結線不良。
3	ロック状態で足を入れる。	アンロック後、バックドアが開閉する。 → 4へ。	アンロックしない。	車両のスマートキーを携帯して下さい。
4	エンジン始動中に足を入れる。	バックドアが開閉する。 → 5へ。	バックドアが開閉しない。	⑩灰線の結線不良。
5	エンジン始動中にパーキングブレーキを OFF にして足を入れる。	バックドアが開閉しない。	バックドアが開閉する。	⑩灰線の接続先が違います。